

手頃な価格で名機を堪能  
バルジュール22 搭載  
クロノグラフの良作



(右) 無名  
クロノグラフ

1940年代製の無名のクロノグラフ。艶感のあるブラックダイヤルに朱色のテレメーター・タキメーターを配したクラシックな意匠に加え、ケースもエッジの効いたステップベゼルにクラシカルな角型プッシュを採用。文字盤は、光の当たる角度によって一部経年変化が見られるが、全体にバランス良くエイジングしており実に魅力的な仕様となっている。  
■SS 35mm径 / 手巻き (Cal.バルジュール22) / 1940年代製 / 50万6000円

(右) エスカ  
ツォーカウンタークロノグラフ

1940年代に製造されたエスカのクロノグラフ。鮮やかなブルースチールのスピード針と赤いクロノグラフ秒針のコントラストが美しい。35.5mmのニッケル製のケース(裏フタがステンレススチール製)はシャープなエッジをしっかりと残しており、小振りな角型プッシュとのバランスも良好。ムーブメントはバルジュール22を搭載。  
■ニッケル (35.5mm径) / 手巻き (Cal.バルジュール22) / 1940年代製 / 57万2000円

名店シエルマン銀座で見つける

マイナーブランドの知られざる

良作の選

優れた審美眼で選び抜いた上質なアンティークウォッチを取り揃え、時代を超えて時計の魅力が現代に伝える銀座の名店シエルマン。オールドパテックの品揃えに定評のある同店だが、近年は手頃な価格で楽しめる中小ブランドのモデルについてもラインナップを充実させている。

構成・文◎船平卓馬(編集部) / 写真◎笠井修



左の無名クロノグラフに搭載された名機バルジュール22。美しい粒金仕上げが施され、無銘系ながら意匠、機械の仕上げとも魅力的だ

ブルースチール針、赤のクロノグラフ秒針がシンプルな文字盤に個性を加えるエスカ。サブダイヤルの計が単針と意匠を統一したスピード型である「手」にもこだわりが光る

## 1940年代に流行した 銅文字盤の秀作



## アルピナが手がけた ドイツ市場向けブランド

### ピンクカラーダイヤル

(左) モンレイ (右) レビュー

メジャーブランドの時計に比べて、より個性的な意匠を楽しめるのも無名系、マイナー系の魅力。左のモンレイ、右のレビューともに1940年代の時計だが、ピンクカラーダイヤルがこの年代ならではの雰囲気を感じさせている。アール・デコの影響を感じさせるレビューの角形モデルも魅力的だが、目を引くのがモンレイのスマールセコンドモデル。立体的なアラビア数字とドットを組み合わせたインデックス、丸型のモチーフが入った特徴的なシェイプの長短針が、個性を主張しつつも良好なデザインバランスを構築している。

■(左) ニッケル (35mm径)。手巻き (Cal.1286)。1940年代製。9万9000円 (右) SS (22.5×31.5mmサイズ)。手巻き (Cal.54)。1940年代製。30万8000円

### シゲリン

(左) ラウンド (右) レクタングラー

現行モデルでもお馴染みのスイスの時計ブランド、アルピナがドイツ市場向けに手がけたとされる「シゲリン」のデッドストックモデル。市場では角形モデルが比較的豊富に流通しているが、左のモデルは希少性の高いオーソドックスなラウンドケースを採用。両モデルともに視認性の高いツートンダイヤルに鮮やかなブルースチールの長短針を配しており、均整のとれた美しいデザインに仕上げられている。エッジを立たせた角形モデルも魅力的だが、やはり目を引くのがラウンドモデル。中央に向かってシェイプした一体型のラグが印象的だ。

■(左) SS (31mm径)。手巻き (Cal.586)。1940年代製。14万3000円 (右) SS (24×20mmサイズ)。手巻き (Cal.495)。1940年代製。8万2500円

## オリジナルの箱と タグが揃った デッドストック品

### レクタ ラウンド

ドイツ軍などに軍用時計を数多く供給した歴史をもつスイスの時計ブランド、レクタのデッドストックモデル。ケースサイドを丸く仕上げたケースに、ラグを別体で溶接した外装、アラビア数字とドットを組み合わせたインデックス、通常よりも先端を長く仕上げたペンシル針など、ほかではあまり見られない意匠がモダンな印象と個性を主張する。時計の上質なコンディションに加えて、オリジナルの箱、タグなどが揃っているデッドストック品というのも、マニア心をくすぐるポイントと言えるだろう。

■SS (33mm径)。手巻き (Cal.13)。1950年代製。22万円

## マイナーブランドにも 品質の良い時計を厳選

一流店が集まる東京・銀座に店舗を構え、オールドパテックをはじめとした上質な時計の品揃えで、時計愛好家から絶大な信頼を集めている名店シェルマン。

長年にわたってパテック・フィリップなどの名品を販売してきたと聞くと少々敷居が高い印象だが、近年はその確かな審美眼により、10万円前後の手頃な価格帯のモデルに関しても商品を拡充させている。なかでも、今回注目したいのが目の肥えた愛好家にもおすすすめできる、マイナーブランド、無名ブランドの時計である。

「当店ではオールドパテックだけでなく、名門から無名ブランドまで、ブランドにこだわらず、オリジナリティーの高い上質な時計を厳選しています。マイナーブランドはメジャーにはない独創的な意匠を備えた時計を揃えています。特におすすめしたいのが機械式のメカニズムを堪能できる「手巻き」のクロノグラフです。近年、メジャーブランドの相場が驚くほどに高騰していますが、シェルマンでは、まだ比較的手頃な価格で購入できる無名のクロノグラフも揃えています。こうした時計は無名とは言え、バルジューやヴィーナスの機械を搭載しており、信頼性が高く、少し値ごろ感のある価格で名機を楽しめるのが魅力だと思います」(シェルマン銀座店・高橋氏)

長く時計界の最高峰パテック・フィリップを中心に取り扱ってきたからこそ培われた審美眼で選び抜いた時計は、マイナーながら魅力的な意匠を備えた秀作が揃う。アンティークの魅力を再発見できること請け合いです。

# SHOP SELECTION

最後にアンティークウォッチショップがおすすめするモデル、17本を一挙に紹介。  
お気に入りの1本をぜひ探してみてください。

## Ref.3604

初代ノーチラスにも搭載されたことで知られる、ルクルトベースの薄型自動巻きCal.28-255Cを搭載する。28-255Cの製造数は約2万個と言われる。この3604自体、数の少ないレファレンスだが、この個体はさらに希少なブルー文字盤が採用されている。アーカイブも付属する。

■K18WG (36mmサイズ)。手巻き (Cal.28-255C)。1973年製。165万円/🇨🇭クールオークション



## Ref.3438

Ref.96と同じ30.5mm径の小振りなサイズと優雅なフォルムを継承しつつ、自動巻きのCal.27-460を搭載した“カラトラバ・オート”。  
■K18YG (30.5mm径)。自動巻き (Cal.27-460)。1960年製。374万円/🇨🇭シェルマン

## Ref.2452

段差の付いたステップクロウラグやすり鉢状にカーブしたベゼルなどが特徴となっており、ケースの造形美が強調されたRef.2452。アーカイブが付属。

■K18YG (35mm径)。手巻き (Cal.12-400)。1950年代製。138万6000円/🇨🇭クールオークション

## Ref.3525

アンティークパテックで唯一となる自動巻きクッションケースモデル。32mmの小振りなケースに対して、その曲線的なフォルムに存在感がある。アーカイブ付属。

■K18YG (32mmサイズ)。自動巻き (Cal.27-460)。1966年製。185万円/🇨🇭クールオークション



## カラトラバ Ref.96

■K18YG (30.5mm径)。手巻き (Cal.12)。1934年製。297万円/🇨🇭シェルマン

## カラトラバ Ref.96

■K18PG×SS (30.5mm径)。手巻き (Cal.12-120)。1942年製。308万円/🇨🇭シェルマン

## Ref.3411

■K18YG (34mm径)。手巻き (Cal.27SC)。1961年製。132万円/🇨🇭シェルマン

## Ref.3543

クッションケースの上面にリング彫金 (シワのような装飾) を施して、独特な表情に仕上げられたRef.3543。アーカイブが付属。

■K18WG (32mmサイズ)。手巻き (Cal.23-300PM)。1971年製。107万8000円/🇨🇭クールオークション

【第2章】名門を名門たらしめた傑作ムーブメントを紐解く  
**オールドパテック入門**



カラトラバ Ref.96

耐磁Cal.27-400AMを搭載したカラトラバRef.96。96に27-400AMが搭載された個体は約100本と非常に珍しい。アーカイブも付属する。  
 ■K18YG (30.5mm径)。手巻き (Cal.27-400AM)。1966年製。220万円/👉クールオークション



Ref.3445

■K18YG (35mm径)。自動巻き (Cal.27-460)。1960年代製。165万円/👉アンティークSTY



Ref.2476

■K18PG (26×30mmサイズ)。手巻き (Cal.9-90)。1957年製。242万円/👉シェルマン



Ref.2506

■K18YG (31mm径)。手巻き (Cal.10-200)。1955年製。110万円/👉シェルマン



Ref.1491

大きくカーブしたスクロールラグが特徴。このスモールセコンド仕様のほか、センターセコンド仕様も存在している。アーカイブ付属。  
 ■K18YG (34mm径)。手巻き (Cal.12-120)。1940年代製。217万8000円/👉クールオークション



ビッグ・カラトラバ Ref.570

同社初となるセンターセコンド専用設計となったCal.27SCを搭載する。通称「ビッグ・カラトラバ」。純正のヘルト、扉錠に加え、アーカイブが付属し、オリジナリティの高い1本。  
 ■K18WG (35mm径)。手巻き (Cal.27SC)。1968年製。468万円/👉ジャックロード



ビッグ・カラトラバ Ref.570

Ref.570のスモールセコンド、18金イエローゴールド仕様。経年によって変色したインデックスがアンティークらしい雰囲気を醸し出す。  
 ■K18YG (35mm径)。手巻き (Cal.12-400)。1954年製。308万円/👉ケアーズ森下本店



Ref.3514

ボンベイ文字盤に、バーインデックス&針を組み合わせた1960年代のパテックらしい1本。アーカイブ付属。  
 ■K18YG (34mm径)。自動巻き (Cal.27-460)。1970年代製。210万円/👉クールオークション



Ref.2573-2

印象的なクロウラグをもち、10型のCal.23-300を搭載するラウンドモデル。アーカイブ付属。  
 ■K18RG (33mm径)。手巻き (Cal.23-300)。1960年製。120万円/👉クールオークション